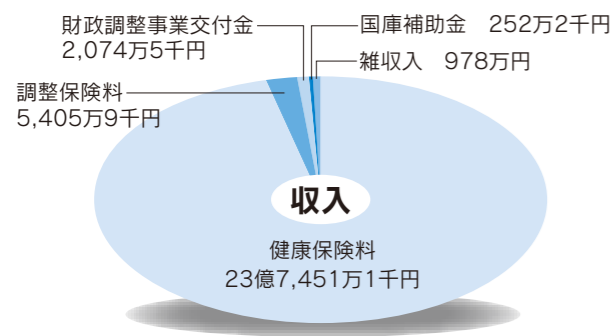


高額医療対象者と コロナウイルス関連医療費の 増加により、保険給付費(医療費)が 大幅増で赤字に

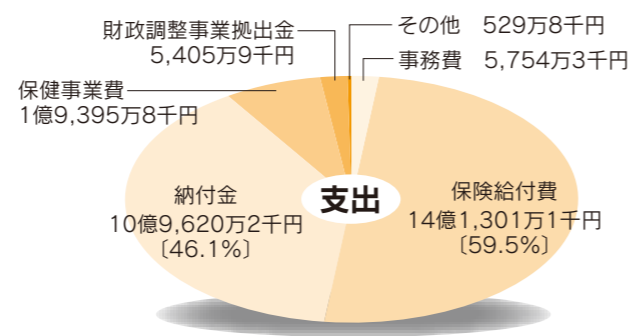
■予算の基本数値

年間平均被保険者数/人	6,650
平均標準報酬月額/円	342,738
標準賞与額/円	1,257,416
健康保険料率	6.649%
調整保険料率	0.151%
一般保険料率	6.800%

■健康保険勘定予算 []は保険料に占める割合



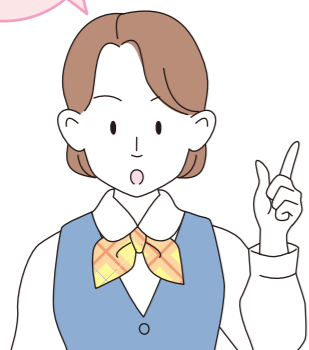
収入 24億6,161万7千円



支出 28億2,007万1千円

健康診断で新型コロナウイルス感染症の リスクを低く抑えることができます！

コロナ医療費、
7割は健保負担！



新型コロナウイルス感染症の検査代や治療費はだれが負担するか知っていますか？
よく、国費で負担すると聞きますけど、実際は、個人負担（一般的に3割*）分を国費で負担し、残りの分を健康保険組合が負担します。**全額国費で負担！**ということはありません。

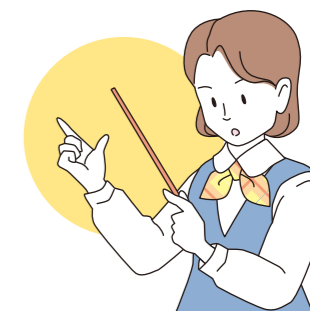
当健康保険組合の新型コロナウイルス感染症に係る受診件数と医療費

	受診件数	検査・治療費総額
2020年3月から2021年2月まで	784件	1,474万円
2021年3月から2021年11月まで	1,931件	5,559万円

2021年3月から2021年11月までの検査・治療費5,559万円は健康保険組合が負担しています。



当健康保険組合でも、新型コロナウイルス感染症に感染された方が増えてきています。感染された人の実体験を2例ご紹介します。自身が感染した場合も考えてみましょう。



Aさんのパターン

普段から病気にかかることのないAさん

年に一度の健康診断も受けず、自覚症状もなかったため、基礎疾患があることに気づかずにいました。

ある日、新型コロナウイルス感染症に感染し、基礎疾患があったため重症化、即入院！生死の境をさまようことに・・・。

その後、入院は長期化し、医者から後遺症の恐れがあるとも言われ、毎日不安な日々を過ごすことになってしまいました。



Bさんのパターン

年に一度、健康診断を必ず受けているBさん

健康診断を受けているおかげで、基礎疾患があることを知っていました。

ある日、基礎疾患の治療のために通っていた病院の医者から、新型コロナウイルス感染症に感染すると重症化する可能性が高いことを伝えられました。

感染はしましたが、予防接種を早めに受けたため、重症化はしませんでした。



まとめ

日頃から自身の体を知るために健康診断を活用している人の方が、重症化するリスクを防ぐことにつながりました。医療費の負担増は、保険料率の引き上げにつながります。自覚症状がなくても年に一度の健康診断で健康状態を確認しましょう。